

<救急医療情報キット>



って、なんで作るの？

URL : <http://kyoto119kitto.com>

■うちで突然気分が悪くなったら、どうしよう。。。

たとえば、あなたが家でひとりでいるときに、
<具合が悪くなって救急車を呼んだものの、うまくしゃべれない>また
<家の中で倒れていたのを見つけてもらい、誰かに 119 番してもらう>
そんなくしも>のときに、自分の病気やお薬、緊急連絡先に関する情報を、
駆けつけた救急隊員に、すばやく知ってもらえる方法があれば安心ですよ。
<救急医療情報キット>は、そんなみなさんの思いに応えるための、キットです。

■外出先で突然気分が悪くなったら、どうしよう。。。

いったん作成した<救急医療情報シート>は、コピーしていつも持ち歩いている
カバンのなかに入れておけば、万が一、外出先で気分が悪くなったときにも、救急
隊員やお医者さんにすぐに自分の医療情報や緊急連絡先を伝えることができます。

■お医者さんで、今飲んでるお薬を聞かれたけれど、いろいろあって。。。

さらにまた、何かの病気で、新しくお医者さんを受診することになったときに、
<これまでにした病気>や<今飲んでる薬>について質問されたときでも、手元に
この<救急医療情報シート>があれば、すぐに、正確に、答えることができます。

■心配なのは、一人暮らしの高齢者だけでしょうか？

全国の自治体のなかには、すでにこのような<救急医療情報キット>を無料配布
しているところもあります。しかし、配布対象が<独居の高齢者>であったり、また
<65才以上の高齢者>などと限定されているケースが少なくありません。

ただ、年齢にかかわらず、一人暮らしをしていたり、健康に何かしら不安を抱えて
いる場合もありますし、また家族と同居していても、昼間は、自宅で高齢者がひとりで
過ごす場合もあります。そういった場合でも、くしも>に備えて<救急医療情報キット>
を作っておくことで、本人、家族、みんなが安心して、生活することができます。

■200 円と少力で、自分で作れて、高齢者の方にもプレゼントできます。

このようなく急医療情報キット>を、PC環境さえあれば、できるだけ安く、手軽に
自分で作れる方法を、紹介するサイトを作りました。(URL: <http://kyoto119kitto.com>)

サイトを見ながら自分用に作るもよし、また、ふだんから、ひとり暮らしの高齢者の
みなさんと接する機会の多い、民生委員さん、訪問看護のスタッフさん、ヘルパーさん
お町内の隣近所のみなさん、遠方に独り住まいの高齢のご両親のいらっしゃる方など、
ひとりでも多くの方が、このHPを利用して<救急医療情報キット>をあらかじめ作成し、
高齢者のみなさんが記入して保管するまで、見守っていただければと願っています。